

出張講義お申込み

下に必須事項をご記入のうえ、南九州大学入試広報課 **FAX0985-83-3436** にご返信ください。
講座担当者と調整後、折り返しお電話でご連絡致します。

申込日: 年 月 日

高校名					
ご担当者	所属役職	氏名	ふりがな		
連絡先	TEL	FAX			
	E-mail				
□申込み(1) 又は □第1希望 講義No. <input type="text"/>	希望日	年	月	日(曜日)	
	希望時間・コマ数	時	分	～	時 分(コマ)
	受講人数	学年	人	・	未定
□申込み(2) 又は □第2希望 講義No. <input type="text"/>	希望日	年	月	日(曜日)	
	希望時間・コマ数	時	分	～	時 分(コマ)
	受講人数	学年	人	・	未定
□申込み(3) 又は □第3希望 講義No. <input type="text"/>	希望日	年	月	日(曜日)	
	希望時間・コマ数	時	分	～	時 分(コマ)
	受講人数	学年	人	・	未定
通信欄 ※出張講義へのご要望等をご記入ください。					

【お問い合わせ】

〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島 5-1-2

WEB 申し込みはこちらから

フリーダイヤル 0120-3739-20

E-mail koho@nankyudai.ac.jp



南九州大学 人間発達学部 子ども教育学科では、高校生の皆さんに当学科の教育の一端に触れていただくため、下記の要領で出張授業を実施いたします。学科教員が御校へ出向いて分かりやすく講義いたしますので、ぜひご利用くださいますようお願い申し上げます。費用は必要ございませんので、お気軽にお申し付け下さい。講義内容や時間など、ご相談にも応じますのでお問い合わせください。お申し込みやお問い合わせは、お電話、メール、または FAX 申込書をご利用下さい。HP からもお申し込みできます。

1 楽しい「探究」で学びを深める



理科教育研究室 遠藤 晃 教授
総合的な探究の時間などで「探究」している皆さん！
高校生の皆さんにとって「探究」する意味は何でしょう？講義では探究を楽しみながら学びについて一緒に考えます。

2 特別支援教育を考えよう。



特別支援教育研究室 川田 耕太郎 准教授
SDGs観光教育についてミニレクチャーと楽しいアクティビティを実施します。子ども教育学科の学生たちと長年実践して好評な「景観写真レポート」による授業づくりを、高校生のみなさんも一緒にしてみませんか？ SDGs、観光教育、授業、に関心のある高校生や教員希望の高校生に最適です！

3 魅力ある小学校教師の世界



算数科教育学研究室 河野 康男 准教授
自分の経験を丸ごと活かせる小学校教師の魅力をお伝えします。
。質疑応答をとおして共に学びましょう。

4 教育心理学で考える思春期のココロ



教育相談・教育心理学研究室 神垣 彬子 講師
・中二病と黒歴史の正体を考えよう
・SOS希求能力を使いこなそう
・アンガーマネジメントで交渉上手になろう
・アサーションとリフレーミングの達人になろう

5 やってみよう心地よい関係づくり



教育哲学研究室 / 後藤 吉道 准教授
友達との心地よい関係づくりを目指した「人間関係を円滑にする技法」を学んでみませんか。

6 クロッキー会やりませんか！



図画工作研究室／園田 博一 准教授

クロッキー（速写）をやってみませんか。
人物をいろいろな角度から、短時間で描いてみましょう

7 保育者の仕事



幼児教育研究室／西田 雅美 講師

保育所や幼稚園、認定こども園等に勤務している保育者は、日々どのような仕事を行っているのでしょうか。自身の幼少期を振り返るとともに、その一部分を体験してみましょう。

8 音楽の多様性とコミュニケーション



音楽教育研究室／早川 純子 教授

音楽は人々の感情や思考を表現する手段です。
異なる国々や地域の音楽に触れることで、その背後にある人々の生活や歴史を知ることができます。一緒に世界の多様性に触れ、新たな発見をしましょう。

9 遊びの意味を考えよう



幼児教育研究室／藤本 朋美 准教授

子どもは遊びを通して何を得ているのでしょうか。
子どもにとって「遊び」がどのような意味を持つのか、保育・幼児教育の視点から考えます。

10 子どもはどうやって運動を覚える？



体育科教育学研究室／宮内 孝 教授

- 子どもは、運動をどうやって覚えるのだろうか。
- できない動きを習得させる指導のコツは。
- 子どもの運動習得とスクリーンタイムとのよりよい関係は。
- 子どもの体力向上は必要か。

11 ポケットオルゴールを作ろう



特別支援教育研究室／山之内 幹 教授

障害のあるなしに関わらず生じる学習や生活上の困難さに対する理解を深め、特別な支援の在り方を考えてみませんか。

12 子ども食堂、児童虐待、福祉



社会福祉研究室／若宮 邦彦 教授

「福祉」の対象は子どもから高齢者まで多岐にわたります。近年、注目されている児童虐待や子ども食堂について一緒に学びましょう。

10 1人1台の情報端末を使いこなそう



教育DX・教育工学／渡邊 光浩 准教授

- 教科や探究的な学習の時間に情報を活用しよう
- 小・中学校や高校、大学のICT活用の今
- 小・中学校で行われているプログラミング
- 情報モラルや情報セキュリティ、何に気をつければいい？